

輸出事業計画

※申請者名：熊本県果実農業協同組合連合会

品目：かんきつ、かんきつ果汁等

1. 輸出における現状と課題

【現状】

熊本県の果樹農業は、平坦地域から山間地域まで多様に展開されており、デコボンの生産量は日本 1 位、温州みかんは同 4 位と、日本を代表する果樹産地となっている。

【課題】

わが国の人口減少の本格化に伴い、果実に限らず国内マーケットは縮小している。また、生活様式や食生活の多様化が進展する中で、国内の生鮮果実購入数量は減少傾向で推移している。一方、近年は諸外国において日本産果実が高く評価されるなど、輸出拡大のチャンスが高まっており、国内のマーケットの維持・拡大とあわせて輸出への更なる取組が重要。

2. 輸出事業計画の取組内容

【生産面】

カナダ等向けは船舶による輸送期間が長期に及ぶことから、日持ち性向上及び腐敗果防止のため、収穫前防腐剤の適期散布等の指導に産地JAと連携して取り組む。また、かんきつ果汁等については、輸出先国の高品質・健康志向ニーズに対応した高濃度果汁を原料とした生産ラインの整備を行う。

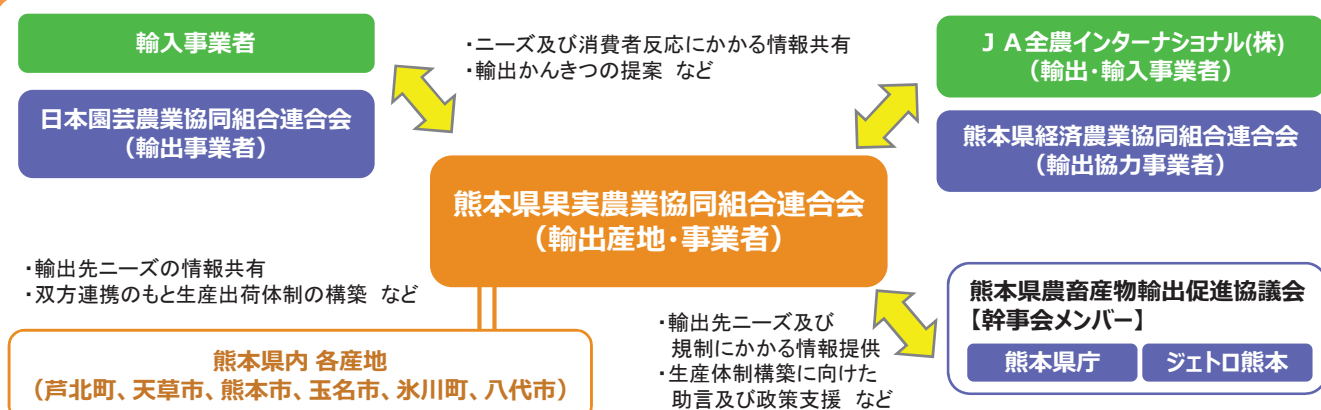
【流通面】

コロナ禍でコンテナの価格高騰・手配困難や船舶の遅延など予測不能のトラブルが生じているため、輸出会社・通関業者と情報交換を行うなど連携し最適な輸送ルート of 構築・見直しに取り組む。

【販売面】

2020年からのコロナ禍で、現地への渡航視察や直接のプロモーションができていないことから、輸出会社・輸入会社と連携して輸出先国の消費者ニーズの把握と販路拡大を図る。なお、かんきつ果汁等については、現在伸び悩んでいる輸出量及び輸出額の拡大に向け、現地飲食店等における消費者ニーズ調査を行う。

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



4. 輸出目標額

品目	令和 2 年度（輸出先国）	令和 7 年度（輸出先国）
温州みかん	495,500円（マレーシア）	10,000,000円（カナダ、シンガポール）
デコボン	3,561,000円（香港、シンガポール）	6,000,000円（香港、シンガポール）
晩白柚	1,929,000円（香港）	3,000,000円（香港）
かんきつ果汁等	917,340円（香港）	1,800,000円（香港）